



News Release

2017年3月1日
京都表具協同組合

京表具の今 伝統の継承と現代への提案 「もって帰って京都」展 開催

～「折紙照明」と「立体屏風」～

ベテランから若手まで京表具師76名が所属する京都表具協同組合（所在地：京都市右京区 理事長 田中 善茂）は3月10日（金）～13日（月）京都伝統産業ふれあい館（京都市左京区 京都市勧業館 みやこめっせ地下1階）において「もって帰って京都」展を開催いたします。

今回は筑波大学教授 三谷純氏、プロダクトデザイナー 平瀬尋士氏とコラボレーションし、この度新しく開発した「折紙照明」「立体屏風」を展示したいと思います。

「平面から立体へ」思わず手に取りたくなるような作品を

今回は、立体折紙アート研究の第一人者、三谷氏デザインによる「折紙照明」と平瀬氏デザインによる「立体屏風」を提案し「どういう仕組みになっているのか？」と思わず手に取ってみたいと感じていただけたらいいなという思いで制作した作品を展示、業界の新たな販路拡大を狙います。

「折紙照明」は1枚の紙を独特の折り方により立体的に折りたたみ、空間にライトを仕込んでいます。「立体屏風」は屏風の面から浮き出る部分に切り込みを入れ、立たせた時にその部分が立体的に飛び出る仕掛けになっています。掛軸・屏風といった表具はこれまで平面のものが多かったのですが、こうして立体的な存在として「おもしろい」と感じていただければ、これからの表具業界の発展にもつながると思っております。どちらの作品にも、1枚の和紙では耐久性に問題が生じ、厚いものだとしなやかさが出ないので、表具の技である裏打ち（薄い紙を何枚も糊で貼り合わせて補強する）が活かされています。

伝統的工芸品「京表具」を家に「もって帰って」

今回も、毎年リピーターがいらっしゃる、表具小物の販売コーナーも併設いたしますので、ぜひ会場までお運びくださいますようお願いいたします。

「もって帰って京都」展 ～京表具の今 伝統の継承と現代への提案～

会 期 平成29年3月10日（金）～3月13日（月）
10：00～16：00（最終日は15：00まで）
会 場 京都伝統産業ふれあい館イベントルーム
（京都市勧業館みやこめっせ地下1階）
入 場 無 料

本件に関するメディアからのお問い合わせ先

京都表具協同組合

販路拡大部長：田中 善茂

広報部長：藤田 幸生

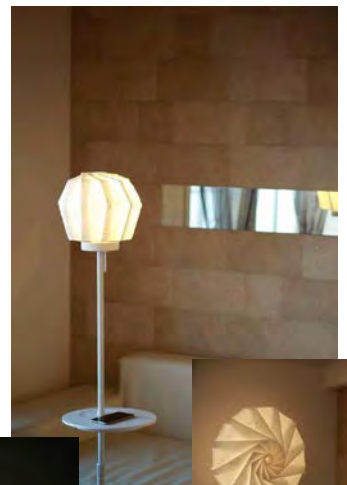
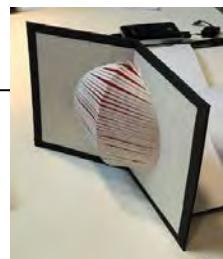
住所：〒615-0042 京都市右京区西院東中水町17

京都府中小企業会館5階

TEL：075（314）5700 FAX：075（313）1120

ホームページ：www.kyo-hyogu.jp/

e-mail：kyoutohyogu2007@yahoo.co.jp



京表具の今。

伝統の継承と現代への提案。

もって 帰って 京都 2017

Japanese Modern
and
Traditional Beauty
Proposal and Succession

表具なんでも相談
無料で承ります！

平成29年3月10日(金)～13日(月)
10時～16時(最終日は15時まで) **入場無料**

京都市勧業館みやこめっせ地下1階
京都伝統産業ふれあい館イベントルーム

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地1



【主催】京表具協同組合連合会 【共催】京都表具協同組合／(公財)京都伝統産業交流センター 【後援】京都府／京都市
【お問い合わせ先】京表具協同組合連合会 事務所 〒615-0042 京都市右京区西院東中水町17 京都府中小企業会館5階 TEL.075-314-5700

京表具の今。 伝統の継承と現代への提案。

「表装」とも呼ばれる「表具」に求められる役割は主に次の三つです。

- ① 室内における調度品
- ② 季節や客に合わせたおもてなしの道具
- ③ 芸術作品を次世代に橋渡しする保存性

これらの役割を満たす具体例として、
和風建築や生活に密着した実用的な「襖」「壁装」など、
また「掛け軸」「額装」「屏風」「画帖」「巻き物」などの美術工芸品的なもの、
さらには高度な技術と豊かな経験が要求される「古美術の修復」が挙げられます。

「表具」は、和紙、糊、裂地を材料として、
加湿と乾燥を慎重に幾度も繰り返すことで完成し、
その作業には熟練の技術が必要とされます。

千有余年の伝統を持つ京表具の工匠たちは、
京都の風土と歴史の中で培ったこの技術を、
現代、そして次世代の生活空間創造に活用すべく提案し続けます。

Japanese Modern and Traditional Beauty

Hyogu, also known as Hyoso, is a traditional Japanese paper mounting craft that uses Washi Japanese paper, glue and pieces of fabric.

A Hyogu piece is completed by repeating a humidifying and drying process several times.

Principle uses of Hyogu are for:

- 1) Furniture
- 2) Interior decoration in accordance with the seasons or when welcoming guests
- 3) Preservation of artwork for future generations

Proposal and Succession

Specifically, the craftsmen undertake creating works in the following three spheres:

- 1) Functional items for daily life such as sliding doors and wall coverings.
- 2) Art crafts such as hanging scrolls, frames, folding screens, picture albums, scrolls.
- 3) Restoration of antique items that requires a high level of technique and experience.

【主催】京表具協同組合連合会 【共催】京都表具協同組合／(公財)京都伝統産業交流センター 【後援】京都府／京都市



※こちらは昨年の展示作品になります